



創立55周年記念式典
山梨県中小企業団体中央会

「不撓不屈」の精神で困難に立ち向かう
組合、産業界の発展に貢献した2005の個人や団体を表彰

創立55周年記念式典盛大に開催



山梨県中小企業団体中央会機関誌
平成22年度中小企業組合活性化情報

12月号

2010年
第649/224号
(毎月1日発行)

定価100円
昭和36年4月10日
第三種郵便物認可

11月の出来事

●時事

- 7日 プロ野球 ロッテ5年ぶり日本一
- 10日 国の借金 過去最大の908兆円
横浜APEC開幕
- 14日 ヴァンフォーレ甲府 4季ぶりJ1昇格確定
- 16日 裁判員裁判で初の死刑判決 横浜
小惑星「イトカワ」の微粒子1500個確認
- 18日 大卒内定率最低の57% 10月時点、「氷河期」下回る

●山梨県中央会ニュース

- 6日 中小企業団体ゴルフコンペ
- 10日 正副会長会議、中央会創立55周年記念式典
- 11日 事務連絡協議会視察研修
- 12、19、24日 農商工連携ナビゲーター育成講座
- 18日 第62回中小企業団体全国大会(奈良県)

12月の予定

- 5日 平成22年度中小企業組合検定試験
- 8、22日 農商工連携ナビゲーター育成講座④

今月の見どころ

- 1面 山梨県中小企業団体中央会創立55周年式典開催
- 1、2面 各種受賞者紹介
- 5面 青年部県大会開催、中小企業ゴルフコンペ開催
- 8面 知事との懇談会開催、新規採用職員紹介
その他、各種事業案内、施策等々情報を掲載

発行所 山梨県中小企業団体中央会
甲府市飯田2-2-1 中小企業会館4階
TEL 055(237)3215 FAX 055(237)3216
http://www.chuokai-yamanashi.or.jp
e-mail webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp

本会は11月10日(水)昭和町のアピオ甲府において、県内の中小企業組合関係者ら500人余りの参加を得て創立55周年記念式典を盛大に開催した。

記念式典は、勝俣副会長の開式の辞に続き、中小企業組合の振興・発展にご尽力された物故者に対し黙祷を捧げた後に、内藤会長が式辞を述べた。

式辞の中で、内藤会長は、「本年、本会が創立から55周年を迎え、経済環境の厳しいこのような時こそ、私は、もう一度中央会は原点に立ち返り、山梨県下360団体、構成企業2万8千余を擁する中小企業の連携組織の支援機関としての役割と責務を果たすことが求められていきます。そのためには、信頼され、頼られ、要望に応えられる組織体制の強化を行い、農商工連携をはじめとする新しい時代における企業間連携やものづくり企業の技術

力強化など新たなビジョンの創出を行う中で、県内中小企業連携組織の更なる発展を目指し、連携活動を力強く展開する支援機関としなければならないと考えております。また、我が国経済は依然として厳しく、先行きが不透明な状況にあります。しかし、中小企業は変化に対する機動性などの強みを持っています。この強みを組合の原点である共同の力に結集し、どんな困難にあっても決して心がくじけない「不撓不屈」の精神をもって立ち向かっていかなければならないと、新たに決意した次第であります。」と述べた。

続いて表彰に移り、山梨県中小企業団体中央会会長特別表彰から表彰が始まり、中小企業庁長官表彰、関東経済産業局長表彰、山梨県知事表彰、全国中小企業団体中央会及び山梨県中小企業団体中央会の会長表彰を行い、組合や団体の発展に尽力した個人を表彰し、企業や個人や団体の発展に貢献した2005の個人や団体に表彰状を贈った。(被表彰者の氏名等は下段から。)表彰終了後には、横内山梨県知事、内山関東経済産業局長等6名が来賓祝辞を行い記念式典に花を添えた。



来賓祝辞を述べる
横内県知事



来賓祝辞を述べる
内山関東経済産業局長



式辞を述べる
内藤会長

山梨県中小企業団体中央会創立55周年記念受賞者名簿

- | | | | | |
|---|---|--|---|---|
| <p>会長特別表彰 24名</p> <p>青柳和人(山梨県書店商業組合)、飯島正二郎(協同組合国母工業団地工業会)、池田武夫(甲西家具工業団地協同組合)、石橋源蔵(山梨県繊維物産工業組合)、岩間英雄(山梨県農業機械商業協同組合)、小俣鐵夫(上野原繊維工業協同組合)、片田義光(身延竹炭企業組合)、神山利秋(山梨県新販売専門店協同組合)、五味武(山梨県新販売専門店協同組合)、坂本信晴(甲府車検センター協業組合)、中込豊秋(甲府市食品団地協同組合)、中野正雄(甲府車検センター協業組合)、中山章三郎(山梨県花卉事業協同組合)、長山高明(河口湖商業協同組合)、樋口一男(甲府車検センター協業組合)、樋口孝治(甲府市資源回収協同組合)、古屋忠義(高根クラインガルテン企業組合)、堀内利之(協同組合フレッシュエッセイ甲府)、宮坂伊兵衛(協同組合国母工業団地工業会)、山本重成(高根クラインガルテン企業組合)、依田正男(山梨中央青果商業協同組合)、渡邊彬(都留信用組合)、渡邊泰(甲斐東部産地形成事業協同組合)、渡邊吉夫(山梨県燃熱工業組合)</p> | <p>中小企業庁長官表彰</p> <p>優良組合 3組合</p> <p>釜無工業団地協同組合、甲府市資源回収協同組合、南アルプス市管工事協同組合</p> | <p>関東経済産業局長表彰</p> <p>優良組合 2組合</p> <p>山梨県農業機械商業協同組合、山梨県味噌醤油工業協同組合</p> | <p>組合功労者 1名</p> <p>勝俣明美(山梨県絹人織物工業組合)</p> | <p>組合青年部 1青年部</p> <p>山梨県造園建設業協同組合青年部</p> |
| <p>山梨県知事表彰</p> <p>優良組合 23組合</p> <p>雨畑開発事業協同組合、協同組合物流ネットワーク、山梨協同組合山梨県異業種交流青中倶楽部、映東ネットワーク事業協同組合、甲府市管工事協同組合、甲府市中央卸売市場水産物仲卸業協同組合、甲府ホテル旅館協同組合、コンピュータ利用促進協同組合、双葉農の駅企業組合、身延竹炭企業組合、山梨県カーリサイクル協同組合、山梨県学校給食パン協同組合、山梨県化粧品小売協同組合、山梨県酒造組合、山梨県スポーツ専門店協同組合、山梨県造園建設業協同組合、山梨県測量設計業協同組合、山梨県地質調査事業協同組合、山梨県時計宝飾眼鏡商業協同組合、山梨県生コンクリート工業組合、山梨県ワイン酒造協同組合、山梨相互振興協同組合、山梨物流事業協同組合</p> | <p>組合功労者 45名</p> <p>赤池廣(甲府市資源回収協同組合)、声沢裕(山梨中央青果商業協同組合)、荒井信秋(山梨県山砕石事業協同組合)、石川春人(山梨県わた寝具商工組合)、井藤光雄(山梨中央青果商業協同組合)、伊藤一郎(山梨県砂利協同組合)、小沢昭二(甲西家具工業団地協同組合)、小田切寛(山梨県石油商業協同組合)、小野富義(山梨県時計宝飾眼鏡商業協同組合)、折居利彦(山梨県石油商業組合)、金山百合子(山梨県重機・建設解体工事協同組合)、金子敏(山梨県室内装飾事業協同組合)、鴨下進(山梨県時計宝飾眼鏡商業協同組合)、菅沼欣一(山梨県石油商業組合)、川口隆輝(山梨中央青果商業協同組合)、河崎一巳(山梨中央青果商業協同組合)、北川湊博(山梨県ビルメンテナンス協同組合)、功刀修(山梨県中小建設業協同組合)、五味武(山梨県新聞販売商業協同組合)</p> | <p>組合青年部 1青年部</p> <p>山梨県塗装協同組合青年部甲塗会</p> | <p>組合功労者 1名</p> <p>山梨県塗装協同組合青年部甲塗会</p> | <p>組合青年部 1青年部</p> <p>山梨県造園建設業協同組合青年部</p> |

「2面へ続く」

叙勲

旭日小綬章



長沢利久氏

山梨県精麦工業協同組合 理事長
山梨県食品産業協議会 会長

旭日双光章



岩下昭氏

山梨県クリーニング
生活衛生同業組合 理事長



矢澤雄児氏

山梨県中小企業団体中央会 副会長
山梨県食品工業団地協同組合 理事長

栄誉

秋の叙勲に組合関係者3名が受章

政府は、11月3日付で平成22年秋の叙勲受章者を発表した。山梨県関係では42名が受賞し旭日小綬章に長沢利久氏（山梨県精麦工業協同組合理事長）、山梨県食品産業協議会会長、旭日双光章に矢澤雄児氏（山梨県中小企業団体中央会副会長）、山梨県食品工業団地協同組合理事長、岩下昭氏（山梨県クリーニング生活衛生同業組合理事長）がそれぞれ選ばれた。

県政功績者・組合関係者8名が受章

山梨県は、平成22年度の県政功績者56人と一団体を11月10日付で発表した。組合関係者では8名が栄えある受章を受けた。



橋本義次氏

山梨県中小企業団体中央会 理事
山梨県トラックターミナル
協同組合 理事長



飯野巧氏

山梨県中小企業団体中央会 理事
山梨県青果商業協同組合 理事長

- 岩間 英雄氏（山梨県農業機械商業協同組合 理事長）
- 河野 通一氏（山梨県水晶美術彫刻協同組合 理事長）
- 斎藤 則男氏（元山梨県貴金属工芸協同組合 理事長）
- 長沢 俊博氏（元山梨県ビルメンテナンス協会 会長）
- 名取 政仁氏（元山梨県学校給食協同組合 理事長）
- 花輪 幹夫氏（山梨県理容生活衛生同業組合 理事長）

優秀組合専従職員 6名

一瀬敏直（甲府ハイヤー事業協同組合）、猪股美香（山梨県自動車整備商工組合）、太田美恵子（山梨県トラック事業協同組合）、佐野朱実（甲府量工業協同組合）、中村文字（山梨県遊技業協同組合）、堀内恒久（山梨県トラック事業協同組合）、前田茂樹（山梨県美容業生活衛生同業組合）、松浦朋子（山梨県地場産業センター販売協同組合）、横内優（山梨県自動車整備商工組合）

優良女性部 1女性部

山梨県化粧品小売協同組合女性部

組合功労者 56名

響場紀典（山梨県電気工事工業組合）、井口泰宏（山梨県宝玉石研磨工業協同組合）、市川巖（ロククラフト事業協同組合）、一瀬清治（市川和紙工業協同組合）、井上善展協同組合、山梨県ジュエリー協会、今澤雅俊（山梨県学校給食パン協同組合）、上田榮喜（山梨県化粧品小売協同組合）、植松徹（協同組合物流ネットワーク）山梨、海野真裕（山梨県生花商業協同組合）、梅本実（山梨県パン協同組合）、遠藤一郎（甲府市食品工業団地協同組合）、遠藤弘夫（山梨中央青果商業協同組合）、遠藤弘夫（山梨中央青果商業協同組合）、岡部修司（山梨県生花商業協同組合）、長田和雄（山梨県クリーニング生活衛生同業組合）、小保村三（上野原機械器具工業協同組合）、小山田勉（富士吉田織物協同組合）、尾庭國夫（山梨中央青果商業協同組合）、片田義光（身延竹炭企業組合）、勝俣藤久（山梨県環境整備事業協同組合）、加藤栄一郎（山梨県地質調査事業協同組合）、加藤亀吉（甲斐東部材産地形成事業協同組合）、河崎三郎（山梨県美術彫刻協同組合）、菊島久（山梨県水晶美術彫刻協同組合）、国田正己（谷村織物工業協同組合）、棚謙（山梨県型枠工事協同組合）、小池幸夫（山梨県貴金属工芸協同組合）、奥水一朗（山梨県理容生活衛生同業組合）、奥水政昭（花開所の郷・南清里フラーパーク企業組合）、小中澤春男（山梨県環境計量事業協同組合）、齊藤正明（南アルプス市管工事協同組合）、佐々木文男（山梨県物流事業協同組合）、佐藤愛（山梨県石材加工業協同組合）、志村正福（山梨県クリーニング生活衛生同業組合）、武井博（山梨県板金工業組合）、武田與光（山梨県味噌醤油工業協同組合）、辻清（山梨県漬物協同組合）、中込幸幸（協同組合山梨県鉄構工業組合）、中込聖雄（山梨県板金工業組合）、長坂茂（山梨県衣料チェーン協同組合）、永田貞光（朝日通り商店街協同組合）、中村恭二（山梨県理容生活衛生同業組合）、長山漢一（河口湖商業協同組合）、西山武夫（山梨県化粧品小売協同組合）、原紀元（山梨県サッシ販売工業協同組合）、原田悟（山梨県菓子工業組合）、東山勇（山梨県菓子工業組合）、日向勝男（山梨中央青果商業協同組合）、平間實（甲府市管工事協同組合）、深田齊弘（クリーニングネット）協同組合、松葉惇（協同組合山梨県ジュエリー協会）、三神茂（山梨総合管財事業協同組合）、水村勝（山梨県宝玉石研磨工業協同組合）、矢崎勝教（山梨県重機・建設解体工事協同組合）、山本直光（高根ラインガルテ企業組合）、依田忠（山梨県造園建設業協同組合）、渡邊征夫（都留信用組合）

優良女性部 7組合

甲斐東部材プレカット協同組合、グリーンネット吹奏協業組合、下水道メンテナンス協同組合、南アルプス・エコ協業組合、山梨医療福祉事業協同組合、山梨県財形住宅協同組合、山梨県石材加工業協同組合

優良従業員 12名

秋山健治（株式会社甲信不二フード）、新井利和（早川開発株式会社）、飯野哲（株式会社甲信不二フード）、石部茂（株式会社中島鶏卵市場）、岩窪武仁（株式会社内藤乳販）、岩波政司（小沢木工株式会社）、小倉和夫（甲府通運株式会社）、関孝太郎（山梨総合運輸株式会社）、高野明生（内藤家貨物センター工業株式会社）、野澤勝治（山梨県イオン自動車株式会社）、湯舟正（株式会社荒井建材）、吉崎英孝（株式会社高野塗装店）

優良組合 3組合

山梨県陶器原料商工業協同組合、山梨県室内装飾事業協同組合、山梨県不動産業協同組合

組合功労者 1名

望月一彦（山梨県貴金属工芸協同組合）

山梨県中小企業団体中央会 会長表彰

優良組合 7組合

甲斐東部材プレカット協同組合、グリーンネット吹奏協業組合、下水道メンテナンス協同組合、南アルプス・エコ協業組合、山梨医療福祉事業協同組合、山梨県財形住宅協同組合、山梨県石材加工業協同組合

女性部功労者 2名

中野豊子（山梨着付認定美容師会）、堀内アサ子（山梨着付認定美容師会）

優秀専従職員 10名

秋山よしみ（甲西家具工業団地協同組合）、荻理子（高根ラインガルテン企業組合）、小澤美紀子（山梨県重機・建設解体工事協同組合）、奥水慶子（花開所の郷・南清里フラーパーク企業組合）、小林由紀（甲府ホテル旅館協同組合）、坂本佳寿（都留信用組合）、葉袋美智子（甲府量工業協同組合）、武藤けさ美（山梨県民信用組合）、望月嘉子（山梨県民信用組合）、渡辺龍雄（都留信用組合）

青年部功労者 4名

今村康則（協同組合山梨県鉄構工業会青年部会）、小澤浩（山梨県中小企業団体青年中央会）、千野悟（山梨県板金工業組合青年部）、中山元（山梨県板金工業組合青年部）

雇用増やせば法人税控除？

景気の先行き不透明の中、政府の税制調査会のプロジェクトチームが11月に23年度からの導入を目指す「雇用促進税制」の骨格を示した。その内容は、新規採用数や給与を一定の割合以上増やし解雇を行わないことを条件に、企業が支払う法人税を優遇することが柱で、採用者数や給与の増加に応じて法人税を減額することを検討している。

厚生労働省がまとめた骨格は、①対象年度中に一定以上の雇用を増加させる②事業者側の理由で解雇しない③給与の支給額を一定以上増加させる。など、税制優遇の条件としている。また、措置として①1人当たり100万円の税額控除②給与支払い総額の増額分の一定割合の税額控除③投資税制控除・特別償却など、今後検討とされている。

今回の「雇用促進税制」は、雇用の受け皿となる成長企業を支援し、雇用が拡大することで消費需用を刺激し、成長に繋がる好循環を実現するというマクロ経済的な効果を発現させるため、本税制措置により成長企業の雇用拡大を支援するものと位置づけられている。

また、既存の助成金は就職困難者等の支援や厳しい状況下での雇用維持が中心となっているが、税制においては成長企業の雇用拡大支援として、助成金との役割分担を明確化させたことである。

しかし、本税制措置は、企業が支払う法人税を優遇することとなっているが、法人税を支払っている黒字企業は全体のわずか約3割弱に過ぎず、あとの約7割の赤字企業は中小企業がほとんどで、これでは、黒字の大企業だけ優遇することになり、全体の雇用拡大には繋がらないのでは？今後この動向には注視していきたいものだ。



ibuki
息吹

山梨県中小企業団体中央会 情報連絡員報告

(平成22年10月分)

本県の10月の景況では、全業種のDI値が、売上高-28(前年同月比+34)、収益状況-32(前年同月比+18)、景況感-28(前年同月比+34)となっている。業種別のDI値では製造業で、売上高-20(前年同月比+50)、収益状況は-30(前年同月比+30)、景況感は-25(前年同月比+50)。非製造業で、売上高-33(前年同月比+27)、収益状況-33(前年同月比+10)、景況感-30(前年同月比+23)となっており、製造業、非製造業ともに前年同月比においては全項目で改善が見られるものの、前月比では全項目で5~20ポイントの幅でDI値が悪化している。

国内では、円高やエコカー補助金の終了などの影響から、街角の景気実感を示す現状判断指数が3ヶ月連続で悪化したことが、10月の景気ウォッチャー調査の結果から報告された。これは、調査の指数を構成する企業、家計、雇用のすべての項目において悪化したことが要因であるとされており、国内の景気に明るさは見えない状況にある。

情報連絡員による県内の10月の業況報告では、業況を全体で見ると一部で好転している業種があるものの、製造業、非製造業ともに、「受注・仕事量の減少」「収益減、資金繰り悪化」「先行きが不透明」とするコメントと円高による影響などが目立っており、未だ先行きが全く見えない状況に、経営への不安を抱く声と、長引く景気停滞感が慢性化している状況を懸念する報告が増えている。全体的には、前月に引き続き、中小企業の厳しい現状が報告されている。



業界の動き

データから見た

トピックス 業界から一言

景気動向の変化、現状とその背景などについて、業界または組合員全体の動向・予測(売上高・原燃料等経費・資金繰りなど)についてコメントを求めた。

■製造業

●食料品(水産物加工)／新規開拓の婚礼用食材が伸長したが、一昨年の水準より10%以上も低い。原料は円高輸入先の養殖技術向上等で安定確保が可能。

●食料品(洋菓子製造)／原料は円高メリット以上に値上げが見込まれ、今後の採算面に影響が出てくる。

●食料品(ワイン)／11月3日から山梨ヌーボー解禁となる。各社でヌーボー祭りを実施しており、ヌーボーの評価が試金石となる。

●繊維・向製品(織物)／マフラー、ストールは昨年比20~30%売上減少。問屋の要求単価が低い点、他産地との競

争が要因。ポリエステル素材のクールタイ等は今は忙しい。全体的に発注時期が遅く、納期が短い。

●木材・木製品製造／先々月からプレカットは多いが材料の動きは今一歩。大規模な公的施設整備に対し、県産材を利用する動きが本格化しつつあり期待。

●家具製造／景気が徐々に下降気味であり、将来に対する明るい展望が開けない。

●紙・紙加工品／出荷状況は前年並みで推移。主原料の輸入価格も高値から建値下方修正と円高で下落するもまだ高水準。

●印刷／最近の景気がよくなるから、鈍感化してしまっており、鈍感化している。

●窯業・土石(砂利)／渇水期に入り、河川工事が大量に発注されたため、中部横断道建設工事の需要と併せ売上高は益々増加していき予測。

●鉄鋼・金属(1)／各社で格差はあるが全体として業況は良

くない。9月後半から受注は減少している。

●鉄鋼・金属(2)／円高で輸出関連の企業は厳しい。独自の技術・製品の展開が必要。

●その他(貴金属)／東京の大手の鑑別会社が破産をし、多大な影響が予想される。

●卸売(塗料)／石油大手の合併によりターペンの工場が閉鎖し、原料の値上がり懸念。

●卸売(食品)／牛肉は交雑種(特に銘柄牛)が高値で品薄。鶏肉は猛暑の影響で種鶏の死亡率が例年の3倍になり今後とも生肉を中心に高値品薄が年末まで続きそう。B-1グランプリの影響で鶏の内蔵類(特にキンカン)が

全国的に逼迫。豚肉の需要が落ち込み、全体的に低調。

●小売(水産物)／長引く景気低迷で組合員の経営に対する意識は低下し、自然消滅的な組合解散を懸念。

●小売(自動車)／補助金の終了に伴い、受注は大幅に落ち込んだ。10月の新車登録も前年比76%と大幅減。

●卸売(電機製品)／家電エレクトロニクスの変更に伴い業界全体が大きく伸長。売れ筋商品の極端な品薄状況、地域の家電店まで受注残を抱え、入荷待ちの状態が続いている。

●小売(石油)／10月は中東原油が全面高、元売りの卸価格の上昇で店頭価格は横ばい。11月は記録的な円高ドル安だが、元売り価格は上昇により、販売価格は横ばい。また若手の値下げと予想。

●宿泊業／秋の観光シーズンと甲府鳥もつ煮の効果もあり、県外からの観光客は増加傾向にあるが、大部分は日帰

りで宿泊に結びつけるためには受入側の更なる工夫と努力が必要。

●美容業／秋の婚礼関係の仕事の予約が去年より2割ほど減少。組合で高単価のパーマ需要拡大講習会を開催している。

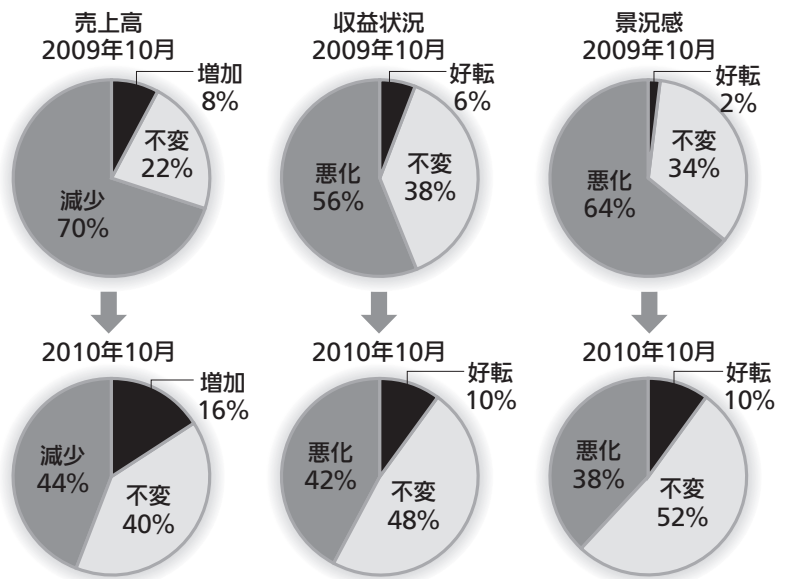
●廃棄物処理／他の業界からの参入が多く、それらの業者による処理料金のダンピングや不正行為が目立つ。特に家屋解体及びリフォーム等に関する建設廃材並びに家電製品等が問題。

●建設(住宅関連)／一般住宅については、景気に直接連動する。全国的に新築住宅着工戸数は右肩下がりであり、山梨県の人口減少傾向を考えると先行きは厳しい。

●運輸(タクシー)／B-1グランプリの甲府鳥もつ煮の影響で甲府への来客は増えたようだが、タクシーの需要には現れていない。

全国的に逼迫。豚肉の需要が落ち込み、全体的に低調。

データから見た業界の動き(平成22年10月分)



業界の声

●河口市温泉旅館協同組合
理事長 外川 誠氏

業界の現況は?

観光業界は、不況による影響を受けやすい業種であるため、全国的にきびしい状況にあります。河口市周辺の観光業界は例年に近い業績をあげております。

これは、都心から比較的アクセスしやすい場所に、富士山や河口湖といった強力な観光資源があることに加え、河口湖周辺の観光業者が行政等と連携し、「レンゲ祭り、芝桜祭り、紅葉祭り、ハーブフェスティバル、山開き、河口湖花火大会」などのイベントを継続的に実施していることが大きな要因といえます。

また、最近の日中関係の冷え込みが旅行業界のマイナス要因として話題となっておりますが、当地域に限って言えば外国人観光客が全体の観光客の10分の1程度の割合となっており、大きな影響とはなっていません。しかし、外国人観光客をメインターゲットとしている一部旅館については、大きな影響を受けていると考えられます。

組合の活動

本年は、新たな組合活動として「第1回キラキラ★河口湖夏物語」祭りを開催しました。この祭りは、7月3日、7日、11日、15日、19日、23日、27日、31日の7日間、大池公園(河口湖ハーブ館前)において開催され、富士山にまつわるB級グルメを一同に会した「富士山ぐるりんグルメ市」、7月7日の七夕の夜に会員組合の旅館へ宿泊されたお客様を対象に、無料パスの送付付きで富士山5合目で星空鑑賞会を実施するなど、多くの催しを実施しました。

今後の展開は?

今年開催した「第1回キラキラ★河口湖夏物語」祭りを来年度以降も継続し、イベント等を通して河口湖周辺の活性化に寄与していきたいと思っております。

また、日帰り中心となっている県内観光客にも積極的に宿泊していたり、ただの宿泊施設としてではなく、サービスを実施していることを考えております。

今後とも、旅館とは来ていただいたお客様に対して「夢を与える商売」ということを目標として、常に明るく元気に対応して行きたいと考えています。



河口湖周辺旅館から見える富士山と河口湖

第2回都留工業交流展に 地元組合及び企業が参加

ACTIVE KUMIAI

TOPICS 都留機械金属工業協同組合・谷村織物工業協同組合

第2回都留工業交流展(同実行委員会・都留市商工会主催)が11月5日・6日・7日(金・土・日)の3日間「ピュア富士都留市中央」で開催された。「都留ものづくりネットワーク」の構築を提案する都留市商工会の呼びかけにより、昨年より実施されているイベントで市内の精密機器製造加工や織物の製造業者など32の企業、団体が出展した。市内には、多くの中小製造業者がいるが、高い技術や優れた製品・サービス等と一緒に展示・紹介することで企業間のパートナー発掘など交流促進と新規取引先拡大等今後のビジネスチャンスのきっかけとなる場となることを目的としている。また展示会場を広く一般市民に開放することで、市民の理解を深めていただき人材確保の期待も大きい。



都留機械金属工業協の展示品



谷村織物工業協の展示品



会場は賑わいを見せていた

中央会会員組合では、2組合が出展。都留機械金属工業協(木村理事長・当交流展実行委員長)は水を動力として発電する水車の模型と発光ダイオード(LED)を組み込んだ街路灯を、谷村織物工業協(高部理事長)は、傘生地を使ったバック・帽子・ポーチなど開発中の新商品の展示を行い、期間中両理事長ともマスコミ、企業関係者及び一般来場者への説明をするなど業界のPRに務めた。

なお6日には、共同受注グループ「ラッシュユすみだ」の津幡英夫名誉会長を講師に迎え「ものづくりネットワークで受注拡大」をテーマに記念講演会も開催された。

食品関連企業の視察を実施

ACTIVE KUMIAI

TOPICS 山梨県食品工業団地協同組合 青年部

山梨県食品工業団地協同組合青年部(鈴木浩文部長)は、11月7日(日)～9日(火)の日程で中央会の青年部研究会事業を活用し、「ものづくり企業の理念と品質管理に対する取り組みを学ぶ」をテーマに北海道の食品関連企業の視察研修を実施した。

今回は、企業理念を確立し、原材料から商品まで一貫した工程管理を行い、厳しい品質管理のもとで製品を造っており、また、工場見学会等を通し、その取り組みを的確に情報発信している企業を訪れた。研修の内容は次のとおり。

キリンビール(株)千歳工場は、「誰よりもお客様の近くに。そして、もっと豊かなひとときを。」を品質方針として掲げ、①お客様満足度の向上、②安全・安心な商品・サービスの提供をするために、社員一人ひとりがそれぞれの立場で、品質の信頼性向上に努めているという。また、苦情対応としては、顧客センターを設置し、システムの対応し、全工場での情報を共有しているそうである。



工場見学開催

石屋製菓(株)白い恋人パークは、品質管理はISOの認証取得しており、その基準に基づいて行っている。不祥事への対応としては、小袋に賞味期限が印字されていないために、人為的に古いものが混入された事件の際は、新聞広告、回収費用で、数億円の費用をかけて対応した。現在は、小袋の賞味期限印字機、箱詰め、包装、検品までの一貫ラインを整備し、従業員教育を徹底することにより再発の防止に努めている。



ニッカウヰスキー北海道工場外観

ニッカウヰスキー(株)余市蒸留所は、素晴らしい自然環境の中で、伝統を守りながら、製品作りへのこだわりを持ち続ける姿が物語となっており、ホスピタリティが徹底されている。

研修を通じて学んだことは、「継続は力なり」であり、日々少しづつ改善などを行うことが永続的な企業経営につながるということである。

中国人実習生の 受入事業第7期生スタート

ACTIVE KUMIAI

TOPICS 山梨県アパレル工業組合



集合研修風景

山梨県アパレル工業組合(吉田高土理事長)は、平成16年から実施している『外国人実習生共同受入事業』の第7期生の受け入れをスタートさせた。第7期生となる今回も、これまでと同様に、中国江蘇省南通市からの研修生15名が来日、組合企業6社が受け入れ企業となり研修を行うこととなる。

今回、11月4日に甲府商工会議所研修室で行われた開講式では、研修生15名の自己紹介が行われ、これからスタートする日本での研修生活に対して、それぞれ研修生15名はしっかりとした日本語で自己紹介を行い、「一日も早く日本の縫製技術を学びたい」と抱負を語った。

開講式後には、(財)国際研修協力機構の担当者から受け入れ企業に対しての注意事項や実習生を巡る諸問題、また昨年改正された新たな実習生制度についての説明会も行われ、1ヶ月に渡って行われる座学研修をスタートさせた。

実習生は日常生活や技術研修に必要な日本語会話を習得を中心に、日本の生活慣習、健康管理、日本の法律や安全などを集合研修で学んだ後、組合員企業で縫製技術の習得を行い、3年間の実習生として就労することとなっている。

11月11日には依田中央会常務理事が講師となり講習を行った。山梨の産業と中国と日本のそれぞれ文化の違いについて実習生と質疑応答・対話などを交えて、終始和やかな雰囲気となっていた。

なお、今回7期生を迎える前の10月29日には、平成19年11月から受け入れを行っていた第4期生の修了式が行われた。吉田理事長より修了生14名に修了書が手渡され、「日本で学んだ縫製技術や皆さんの楽しい思い出とともに、中国へ帰っても頑張ってください」と激励の言葉がかけられた。



抱負を語る7期生代表 袁秀凤(ユアン シュウフェン)さん

山梨県中小企業組合等事務連絡協議会

「柏崎刈羽原子力発電所」への視察研修を実施!

山梨県中小企業組合等事務連絡協議会(菅原五男会長)は、去る11月11日(木)、東京電力「柏崎刈羽原子力発電所」への視察研修を実施した。今回は、当協議会会員・事務局を含め、総勢22名が視察研修に参加した。



視察研修に参加された参加者の面々

東京電力「柏崎刈羽原子力発電所」は、現在においては、約420万㎡(東京ドーム約90個分)の敷地に沸騰水型原子炉110万kWが5基と、世界初の改良型沸騰水型原子力発電所135.6万kWが2基の合計7基がある。7基の合計出力は821.2万kWで世界最大の原子力発電所であり、当発電所で作られた電気は、当県をはじめ、沼津・神奈川方面へ送電されている。

今回の視察研修では、まず研修室にて当発電所の概要を含めたビデオの視聴・説明を受けた後、サービスホールにおいて5分の1原子炉模型を使いながら、原子炉の発電方法の研修を行った。その後、施設内をバスで巡回した後、原子炉内の視察を行った。原子炉においては、平成19年の新潟県中越沖地震からの復旧作業を行っている停止中の原子炉を視察し、運転中には決して見ることができない発電における原子炉の各部分において、説明を受けた。

参加者は、視察研修中も非常に熱心に質問・意見交換を繰り返しており、今回の視察研修がより有意義に行われたことを物語っていた。また、当視察研修においては、東京電力(株)の方々の多大なご協力の下に行われたため、視察研修の終わりに当協議会の菅原会長より、随行して頂いた東京電力(株)山梨支店甲府支社の窪田副支社長、大久保副支社長への感謝の意が述べられた。



視察研修の様子

山梨県中小企業団体青年中央会

青年部県大会開催

山梨県中小企業団体青年中央会(会長:小澤浩)は、10月25日(月)、「古名屋ホテル」において平成22年度組合青年部県大会を開催した。県大会には約50名の青年経営者及び後継者が参加し、依然として続く経済不況を打開するためのビジネスプランの策定及び既存ビジネスを新たな形態に変革させるような新発想のヒントを探るため、講演会の聴講及び交流会での情報交換に取り組んでいた。



あいさつする小澤会長

講演会の講師を務めた田中一司氏(タナベ経営所属)は、企業は環境に適合した形で変化していくため、大量生産の時代に求められてきた人材と、現在求められている人材には大きな違いがあり、現在求められている人材を育成するためには、リーダーが社員のモチベーションをアップさせるために様々なことを考えていく必要があると語った。



講師の田中一司氏

また、社員(部下)のモチベーションをアップさせるためには、社長(上司)が社員(部下)に対して一方的に説明し、作業を行わせるような「ティーチング」ではなく、対等な関係でサポートしていく「コーチング」がふさわしい事を語り、コーチングのスキルアップの方法について実践を交えて語った。

この講演会で説明されたことは、中小企業経営者の誰もが実践可能な事が多く、経営者の努力

力によって中小企業には大きな可能性があることを示す講演となった。

会場を移して行われた交流会には、山梨県商工労働部商工企画課佐野課長等の来賓が参加し、山梨県経済の先行き等について意見交換がされた。



コーチングのスキルアップについての実践

第41回中小企業団体親睦ゴルフコンペを開催

11月6日(土)、笛吹市「ウツドストックカントリークラブ」において、中小企業団体の親睦と交流を図るため、第41回中小企業団体親睦ゴルフコンペを開催し、中央会会員をはじめとして95名が参加した。

参加者は新ペリア方式による団体戦、個人戦を行い、日頃のゴルフの腕を競い、鋭気を養っていた。

ゴルフコンペ終了後、参加者同士の交流も兼ねた表彰式が開催され、個人戦と団体戦の順位賞の他、ニアピン、ドラゴンなどの特別賞(個人戦)の受賞者にそれぞれ賞品が贈られた。

団体戦では山梨県造園建設業協同組合が、また、個人戦では都留食糧協同組合の井出澄男氏がそれぞれ優勝した。



ナイスショット!!



団体戦「優勝」の山梨県造園建設業協同組合

▶団体戦

- 優勝 山梨県造園建設業協同組合
- 準優勝 (社)山梨県鉄構溶接協会
- 1位 都留信用組合
- 2位 都留食糧協同組合
- 3位 山梨協豊事業協同組合

▶個人戦

- 優勝 井出 澄男 都留食糧協同組合
- 準優勝 内田 正文 山梨県造園建設業協同組合
- 1位 伊部 喜一 (社)山梨県鉄構溶接協会
- 2位 渡辺 輝雄 都留信用組合
- 3位 渡辺 真人 山梨県電気工事工業組合

第62回中小企業団体全国大会を開催



議案採決の様子

第62回中小企業団体全国大会は、11月18日(木)に奈良県奈良市にある「なら100年会館」に於いて、全国中央会・奈良県中央会の主催で開催され、松下忠洋経済産業副大臣のほか、関係省庁からの来賓や全国の組合役員等の代表者など約1800名が参集した。

本県からも、多くの組合役員の方々にご参加申込みをいただき、総勢34名が参集した。

今回の大会は、社会の主役である中小企業の発展に向けて、「新たな出発 未来を創る団結の力」をキャッチフレーズに、全国の中小企業団体の代表が一堂に会し、自らの決意を内外に表明するとともに、国等に対して中小企業振興施策の強化を訴え、組合等連携組織を通じて中小企業の成長、豊かな地域社会の実現を図ることを目的とするものである。

大会では、大別して、次の4つの決議案が上程され、各県の代表者による説明があり、原案のとおり満場一致により可決決定された。

- Ⅰ. 経済危機の克服、中小企業・組合の活力強化、中央会の機能強化
- Ⅱ. 中小企業に配慮した雇用対策等の推進
- Ⅲ. 公正な競争環境の整備
- Ⅳ. 中小企業の経営力の向上

また、表彰式では、優良組合34組合、組合功労者68名、中央会優秀専従者50名が紹介され、本県からは優良組合として「山梨県重機・建設解体工業業協同組合(金山百合子理事長)」が、また組合功労者として山梨県青果商業協同組合の「飯野巧理事長」がそれぞれその功績を称えられ、受賞の栄に浴した。

なお、次回の第63回中小企業団体全国大会は愛知県において開催される予定である。



優良組合
山梨県重機・建設解体
工業業協同組合
理事長 金山百合子氏



組合功労者
山梨県青果商業協同組合
理事長 飯野巧氏

情報BOX

山梨労働局からの お知らせ

メルマガ「厚生労働省人事労務マガジン」
をご利用下さい。

厚生労働省では、平成22年10月から、企業の経営者、人事労務担当者の方などを主な対象として、メルマガジンの配信を行っています。このメルマガジンは、雇用情勢や法律改正、助成金等の制度改正、労務管理情報など、企業の皆様のお役に立てる最新情報を月に数回、メールにより配信しています。

登録・配信は無料です。

下記のホームページ中のバナーから、メルマガジンの登録が無料でできますので、是非ともご登録いただき、企業の労務管理にお役立ていただけますようお願い申し上げます。

厚生労働省のホームページ
<http://www.mhlw.go.jp/>

情報配信サービス・
メルマガの登録はこちら

山梨労働局のホームページ
<http://www.y-roudoukyoku.go.jp/>

厚生労働省によるメルマガジン
厚労省人事労務マガジン

景気対応緊急保証制度

国際的な金融不安等を契機とした現下の厳しい経済状況において、例外業種を除き原則として全ての業種に属する中小企業の皆様の資金繰りを、本制度でサポートします

制度概要

- 制度名** 景気対応緊急保証制度(全国緊急)
- 対象者** 一部の例外業種(農林水産業、金融業・保険業、公務(公的機関)、学校法人、政治・経済、文化団体、宗教等)を除き、原則として全ての業種を指定業種として対象
- 保証限度額** 2億8千万円(組合4億8千万円)一般の保証枠と別枠
既存セーフティネット保証の残高を含む
- 保証割合** 100%(全部保証)
- 保証期間** 10年(据置期間2年以内を含む)
- 返済方法** 原則として均等分割返済
- 担保** 必要に応じて徴求する
- 保証人** 法人代表者を除き、原則不要
- 貸付利率** 金融機関所定の金利
- 保証料率** 年0.8%(中小企業会計割引適用時0.7%)
- 必要書類** 通常の申込書類のほか、市町村が発行する認定書(5号)
- 取扱期間** 平成22年2月15日より平成23年3月31日まで

一景気対応緊急保証の借換メリット一

例えば、1,200万円を5年(60回)で返済するケースでは、月々の元金返済は、20万円です。

事例1
3年経った時に、仮に残高が480万円であれば、480万円を10年(120回)で借換えると、月々の元金返済は4万円となります。

事例2
残高480万円に720万円を上乗せして、1,200万円を10年(120回)で借換えても、月々の元金返済は10万円となります。

(*1)一部借換えできない制度もありますので、信用保証協会に個別にご相談ください。
(*2)金利については考慮していません。

お問い合わせ先

山梨県信用保証協会 保証部経営支援室 浅川まで TEL 055-235-9701

朝日の昇らぬ夜はない。

私たちトラックは、どんな環境下でも走り続けています。きっと朝日が昇ると感じています。

それは、国内輸送の9割以上を担っているという責任があるから、日本の経済と豊かな生活を支えているのだという自負があります。

だから、私たちは常に努力しています。安全に、確実に荷物を届けるために、「事業用自動車安全プラン2009」など具体的な安全対策やコラープインテグレーションを推進。また、かけがえのない運送員を未来に残すための「イオトリックストップ運動」や「安全運転の導入促進」などにも積極的に取り組んでいます。

しかし、世界的な不況による売上減少や、燃費の増加などにも悩んでいます。経営者としての責任感に加え、燃費の増加は多少、運賃の値下げを迫ります。次々と押し寄せる燃費は中小企業が多数を占めるトラック業界にとって、企業努力の限界を超えるものとなっています。

それでも、私たちが走り続けるのは、みんなが望む日本経済は立ち上がりつつあるから、日本は元気になると信じているからです。必ず朝日は昇るから。

がんばれ日本!!

環境に優しいトラックが つなぐ人の輪 未来の輪

(平成21年度環境標語 最優秀賞)

(社)山梨県トラック協会(環境保全対策委員会)
(社)全日本トラック協会
後援/山梨県 関東運輸局山梨運輸支局



退職金準備等をお考えの経営者の皆様に!

山梨県中央会共済制度

- ◎特定退職金制度…
大企業並みの退職金制度が確立できます。
- ◎総合保障プラン…
集団扱定期保険により割安な掛金です。



引受会社

三井生命保険株式会社

〒400-0031 甲府市丸の内1-17-10 東武穴水ビル8階
TEL055-224-3152

応援します、あなたの企業

「景気対応緊急保証(全国緊急)」

国際的な金融不安等を契機とした現下の厳しい経済状況において、例外業種を除き原則として全ての業種に属する中小企業の皆様の資金繰りを、本制度でサポートします。

「条件変更対応保証」

金融機関からの借入に関する返済条件の見直しを行う際に必要となる資金の保証を行うことにより中小企業のみならず返済負担の軽減を図り、金融の円滑化を促すための制度です。
これまで公的金融とお取引のない方でも、信用保証協会による返済負担軽減支援を受けられるようになります。

「流動資産担保融資保証制度(ABL保証制度)」

中小企業者が有する売掛債権及び棚卸資産(流動資産)を担保として保証を行う保証制度です。

山梨県信用保証協会

本店 甲府市飯田2-2-1 (山梨県中小企業会館)
TEL.055-235-9700 FAX.055-232-0160
URL:http://www.yiso.or.jp/~shinpo/
E-mail:shinpo-yamanashi@rondo.ocn.ne.jp
富士吉田支店 富士吉田市下吉田1832
TEL.0555-22-0992 FAX.0555-22-0921

情報BOX

どうすればよい? 障害者雇用 ～説明会・ワークショップのご案内～

障害者雇用納付金制度の改正で、『「中小企業も納付金申告などの対象になる」と聞いたけど…。』『我が社はいつまでに何をすればよいの?』『他の会社はどうしているの?』『助成金はどのようなものがあるの?』といった疑問や悩みはありませんか?

そんな企業の方々に、今回、説明会とワークショップを同時開催します。

法律改正の情報を知っていただくこと、受けられる支援について情報提供すること、企業同士で自由に意見交換をしていただくこと、を目的としています。

日時 平成23年1月21日(金)13:30~16:00

場所 雇用・能力開発機構山梨センター

テーマ どうすればよい? 障害者雇用

内容 ◆経済的支援(納付金制度改正と活用できる助成金等)について
山梨県雇用促進協会
◆人的支援(事業主に対する体系的支援、ジョブコーチ支援等)について
山梨障害者職業センター
◆各社の紹介・障害者雇用に係る現状と課題等についての意見交換
雇用経験のある事業所より事例発表の予定

実施規模 10~15社程度

主催 山梨障害者職業センター / 山梨県雇用促進協会

問い合わせ先 山梨障害者職業センター(担当:佐藤・恒成)
TEL:055-232-7069 FAX:055-232-7077
E-mail yamanashi-ctr@jeed.or.jp
URL:http://www.yiso.or.jp/topics/51/workshop.doc

「新卒者就職応援 プロジェクトコーディネート等事業」 実施に伴う受入企業募集

当会では、平成19年9月以降に高等学校・大学等を卒業した(する)者であって就職先が未内定の方を対象に、中小企業の生産現場等に触れる機会を付与するとともに、中小企業で働く上で必要とされる技能・技術・ノウハウ等を習得してもらうための長期間(原則6ヵ月間)の職場体験(インターンシップ)等を実施します。

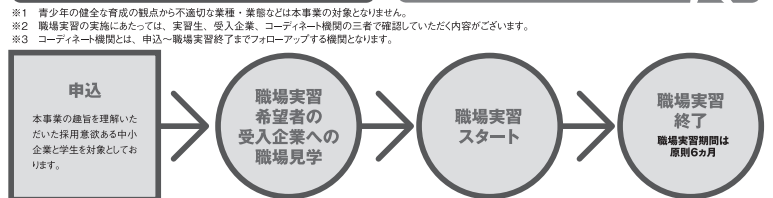
新卒者の職場体験受入れにより自社の活性化・人材戦略の強化につなげてもらうことを目的とし、職場実習期間中、実習生には「技能習得支援助成金」として月額7,000円、受入企業には「教育訓練費助成金」として実習生1人の受入れにあたり月額3,500円の助成金が支給されます。また、コーディネート機関(中央会)が実習生・受入企業双方に対し、実習が円滑かつ効果的に行われるようにサポート(キャリアカウンセラー専門家の配置)も行います。

将来の中核となりうる人材を確保するチャンスです。採用意欲のある事業者の方は是非ご応募ください。

対象者 山梨県中小企業団体中央会会員組合の構成員

お問い合わせ 山梨県中小企業団体中央会 TEL055-237-3215 労働課

受入企業のメリット	現場実習参加者のメリット
<ol style="list-style-type: none"> 職場実習(いわゆるインターンシップ)期間を通じて自社にマッチした人材を見極める事ができます。 教育訓練費助成金が一人受入れにつき月額3,500円支給されます。 ※助成金は、課税の対象となります。 職場実習を円滑に実施するカリキュラムを提供しますので、職場実習のノウハウが無くても安心です。職場実習期間中は適宜キャリアカウンセラー等専門家からアドバイスが受けられます。 	<ol style="list-style-type: none"> 職場実習(いわゆるインターンシップ)期間を通じて働く上で必要とされる技能・技術・ノウハウ等を習得できます。 職場実習期間中は適宜キャリアカウンセラー等専門家からアドバイスが受けられます。その後の就職に関する事も相談にのります。 職場実習期間中、実習生には技能習得支援助成金が月額7,000円支給されます。 ※在学中の方の場合など実習生向け助成金を支給しない場合があります。※助成金は、課税の対象となる可能性があります。



※1 青少年の健全な育成の観点から不適切な業種・業態などは本事業の対象となりません。
※2 職場実習の実施にあたっては、実習生、受入企業、コーディネート機関の三者で確認していただく内容がございます。
※3 コーディネート機関とは、申込～職場実習終了までフォローアップする機関となります。

編集後記

様々な問題が山積したままで終わりを迎えそうな2010年。

2011年こそ、良い年となるよう期待したいです。

●ご意見・ご要望は、
中小企業タイムズ編集班まで

TEL 055-237-3215

FAX 055-237-3216

E-mail webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp



雇用安定推進事業

よろしくお願ひします。



●雇用安定推進員
よねやま
米山
ゆかり

11月から新たに1名の嘱託を採用しました。

山梨県ふるさと雇用再生特別基金事業による雇用安定推進事業の実施に伴い、県内企業を訪問し、雇用に関する情報の収集・整理、奨励制度等の周知、地域雇用の維持・安定を図るため「雇用安定推進員」を採用しましたので紹介します。

22年度 知事と商工団体との懇談会



懇談会であいさつを行う横内知事

11月1日(月)甲府市「談露館」において山梨県知事と経済団体との懇談会が開催された。この懇談会には、山梨県からは横内正明知事のほか、丹澤博商工労働部長、後藤雅夫観光部長が出席、また、経済団体からは4団体(山梨県中小企業団体中央会、富士吉田商工会議所、甲府商工会議所、山梨県商工会連合会)の代表者等14名が出席して行われ、県内経済界が抱える問題点解決のための要望を県に伝えた。

本会からは、内藤悦次会長ほか2名が出席し、農商工連携の促進支援をはじめとする、中小企業関係予算の拡充を図るなど、中小企業への支援強化を求めた。

要望書概要

1. 地域経済活性化に繋がる基盤等強化の推進

- (1) リニア中央新幹線・中部横断自動車道の供用開始を見据えたアクセス道路の整備等の推進
- (2) JR中央東線高速化早期実現の促進
- (3) やまなしグリーンニューディール計画の拡充・強化
- (4) ものづくり人材の育成強化と職業高等学校等の設備等の拡充

2. 中小・小規模企業への支援強化

- (1) 小規模企業対策・組織連携対策予算の拡充強化
- (2) 農商工連携支援策の拡充強化
- (3) 中小企業組合、業種間連携施策の充実強化
- (4) ものづくり企業の技術力強化のための支援

3. 中小企業の取引拡大支援

- (1) 山梨県の誇る地場産業の継続支援とブランド化・販路拡大の推進
- (2) 海外企業と、製造業を中心とした県内企業とのビジネスマッチングの支援強化
- (3) 公共事業について、県内中小企業が受注確保できるような仕組みの構築
- (4) 地場産業振興センターの存続について

4. 地域商業・観光振興対策の推進

- (1) 商業振興対策の拡充強化
- (2) 観光振興策の一層の推進

5. 全国知事会等を通じての国の施策への反映

- (1) 中小企業に対する法人税率等の引き下げ
- (2) 中小・小規模企業の負担増となる消費税の安易な税率引き上げに反対
- (3) 大型店出退店に係わる新たなルールづくり
- (4) 景気対応緊急保証制度の期限延長
- (5) 小規模事業者経営改善資金貸付(マル経資金)の拡充措置の延長
- (6) 高速道路等における県境での渋滞解消

山梨県知事と経済団体との懇談会を開催

横内知事へ要望書を提出

2011 第14回

中小企業団体 新春交流会のご案内

不撓不屈

開催日時 平成23年
1月12日(水) 16:00~18:00

開催場所 アピオ甲府 本館 1F 吉兆の間
中巨摩郡昭和町西条3600

内容 式典 ▶ 16:00~16:40
交流会 ▶ 16:40~18:00

会費 5,000円

多数のご参加をお待ちしております。

日本政策金融公庫は
中小企業のみなさまを積極的に応援します!

国の創業ローン・事業資金ローン



新たに事業を始める方へ
新規開業資金!

経営の多角化や事業転換を図る方へ
新事業活動促進資金!

*ご融資に際しての保証人、担保などにつきましては、お客さまのご希望を伺いながらご相談させていただきます。
*長期のご返済で、お利息は固定金利です。

毎月第2、第4火曜日は
「創業相談会」を開催中(予約制)

お問い合わせは

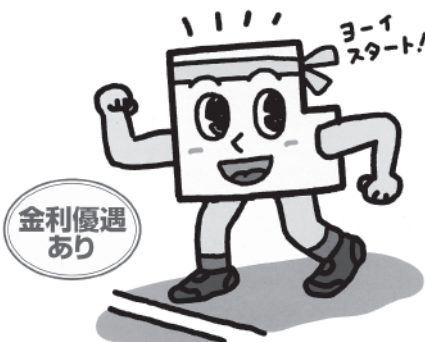
JFC 日本政策金融公庫
甲府支店 国民生活事業 TEL055-224-5366

最寄りの商工会議所・商工会でもご相談を承ります。

山梨中央銀行 www.yamanashibank.co.jp/

山梨中銀 創業支援ローン

ファインスタート



金利優遇あり

- 最大1,000万円
- 無担保でのお取扱い
- 第三者保証人不要

*審査結果によっては、ご希望に添えない場合もございますので、あらかじめ御了承ください。

くわしくは山梨中央銀行の窓口
またはフリーダイヤルへどうぞ ☎0120-201862 受付時間 月曜日~金曜日 9:00~17:00
ただし、銀行休業日はお休みです。

山梨県中小企業団体中央会が推進します

随時募集中



労災上乗せ共済

万一の従業員の災害に備え、十分な安全対策を講ずると同時に、十分な補償体制を整えておくことが「企業の繁栄」と「従業員福利厚生」のための必要条件です!

引受保険会社

三井住友海上火災保険株式会社 山梨支店

〒400-0858 山梨県甲府市相生2-3-16

TEL 055-228-4331 FAX 055-228-4385